ラビットチャレンジ課題　作成者:内山 貴雄

第三章　情報理論要約

本章では、まず自己情報量の定義とその期待値であるシャノンエントロピーについて学習した。自己情報量とは、発生確率がP(x)である事象の情報価値を示した値であり、その対数の逆数であることを学んだ。

後半では、同じ事象・確率変数における異なる確率分布P(x),Q(x)の違いを表す値であるKLダイバージェンスとその定義式内の一部を取り出した値である交差エントロピーを学習した。